

11月28日「富有柿の日」

登録証などを手にする(右から)田宮
智康事務局長、西村寿文県本部長、加
藤一美さん。本県市上保、加藤柿園



甘柿の王様と呼ばれる県内発祥の「富有柿」について、その出荷ピークの時期や語呂合わせから、11月28日が「富有柿の日」として認定された。富有柿の魅力を広く発信しようと、全国農業協同組合連合会県本部（JA

J A全農岐阜が申請、協会から認定

全農岐阜）が日本記念日協会に申請し、認められた。

富有柿は瑞穂市が発祥の地とされ、全国の柿生産量の4分の1を占める代表的な品種。11月下旬にかけて出荷のピークを迎えることや、語呂合わせで「いい・ふゆ」と読めることから、11月28日を富有柿の日として制定した。

本県市上保の加藤柿園で9日、記念日の登録証授与式があった。協会の田宮智康事務局長から登録証を受け取ったJA全農岐阜の西村寿文県本部長は「記念日への登録を機に改めて多くの人に食べてもらえるようアピールしていきたい」と力を込めた。柿生産者の加藤一美さんは「大変うれしく思っている。どこにも負けない岐阜のおいしい柿を皆さんに届けていきたい」と語った。（織部俊太郎）